

村田町

(1) 概要

本町の公共下水道事業は、阿武隈川流域関連公共下水道として昭和52年度から工事に着手、平成元年度に供用開始し、平成26年度末の下水道普及率は62.0%、整備面積367.7haとなっています。農業集落排水は、これまでに1地区を整備し、平成26年度末で普及率3.1%、水洗化率は100%となっています。合併処理浄化槽事業については、平成元年度から個人設置型により事業を進めています。本町の浄化槽における整備率は15.8%となっており、若干整備が遅れている状況にあります。村田町下水道全体計画と合わせて整備を進めていきます。

(2) 生活排水処理普及率の推移

生活排水処理普及率：H26 80.9%

H37 94.6%

H47 100%

(3) アクションプラン達成のための各事業の取組

1) 下水道事業（流域）

平成47年を整備完了として、計画的な整備に努めます。平成37年頃までは既整備地区に隣接する未整備地区の重点整備を進め、平成37年以降にインター周辺の開発や福祉施設拡張計画との調整により、既成市街地以外の整備を行います。

下水道普及率：H26 62.0%

H37 69.8%

H47 74.0%

2) 集落排水事業（農集）

処理施設が公共下水道へ近接する農業集落排水1地区（菅生地区）について、農集排の機能強化を踏まえながら適切な運営管理を進めます。

集落排水普及率：H26 3.1%

H37 3.1%

H47 3.1%

3) 合併処理浄化槽整備事業

本町では、平成元年から個人設置型の浄化槽設置整備事業を行っています。国・県・町の補助金の他に町独自の補助金を交付し、普及促進しています。浄化槽未普及人口が多いため普及促進が課題である。

浄化槽普及率：H26 15.8%

H37 21.7%

H47 23.0%

(4) 住民との協働

下水道融資あっせん制度をPRし、水洗化率向上を図ります。年間を通じた未接続世帯の戸別訪問及び工事施工前や供用開始時、受益者負担金納付書発行時等に戸別訪問を実施し、水洗化率・収納率の向上を図っています。